

『今、自分の番』

歴史ある堀兼中学校で、今を生きる。そして伸びる。

【開校記念日】

4月28日は堀兼中学校の開校記念日でした。この記念日に合わせて、4月28日、学校朝会をおこないました。そして今年度は堀兼中学校開校80周年を迎えています。私が開校80周年に在籍している生徒の皆さんに伝えた内容は、次のとおりです。

★1) 堀兼中学校開校初期の君たちの先輩たちは、もう、90歳を超えていらっしゃる。本当に歴史ある堀兼中学校で君たちは生活している。

★2) 開校以来、ずっと先輩たちからバトン（今思えば、バトンよりタスキのほうがよかったように思っています。中学校3年という時間は、けっして短いものではなく、長丁場だから。反省👤）を受け継いで、今、自分たちの番を迎えており、ここ学び舎、堀兼中学校で学んでいる。今、ここ学び舎での学びを大切にしていきましょう。

★3) 入学式・始業式で、私は『善なる個性』という話をさせていただきました。みんな一人一人、気づいていようが気づいていまいが、この善なる個性を持っているんです。この善なる個性をそれぞれがそれぞれに尊重し合い、それぞれの違いや多様性を認め合って、『和』を大切にし、そして『心の器』を大きく育てていましょう。

以上です。みんな、ここ学び舎、堀兼中学校で『生きる力』を身につけ、未来に生きる『自分自身』というものをつくりあげていましょう。

『校長 心の発信』

心の散歩

ゴールデンウィークも終わりました。さて、今日からまた『学びの宝探し』にワクワクしながら足を踏み出し、共に歩いていしましょう。

さて、話は変わりますが、今回は少しだけ私のことについて発信したいと思います。

私はここ数年で、早起きになりました。朝の4時から5時には、ほぼ毎日起きています。特に何をしているわけでもないのですが、日記を書いたり（10年ほど続いています）、音楽を聴いたり（近所迷惑にならないように、外に音が漏れないようにしています）、天気の良い日には散歩をしたりもしています。

先日、朝の5時頃、散歩に出ました。空には雲が流れており、自然の雄大さを感じました。東の空には、朝日が黄金色に光を放っており、朝日の黄金色と空の水色と雲の白色が、なんとも言えない幻想的な空を見せてくれました。ふと気がつくと、私は『母を訪ねて三千里』の歌を口ずさんでいました。時空をも超えたかのように、自然がプレゼントを贈ってくれた、とても気持ちのいい朝の散歩でした。

「共に学び、共に伸びる生徒」が育つ堀兼中 ⑤

今朝、出勤して職員室前を通っていると、
2名の生徒と職員室前ですれ違った。

そのとき、私が「今日も頑張ってるね！」
と声をかけると、

笑顔で

「校長先生も頑張ってください！」

という言葉をもらった。

有り難い。俄然やる気が出ました。

フラスの言葉って、人の心を元気にする。

そんな生徒が通って、堀兼中学校。いい学校だなあ。

「共に学び、共に伸びる生徒」が育つ堀兼中 ④

今日はある理科の授業の先生の発した言葉を、是非とも紹介したい。

「分からないところがあたら、聴き合っていいよ。」

私はとても素敵な言葉だなあと思い、惚れ惚れしました。

『聴き合う』

これって、とても大切です。

分からないからこそ、聴く。

聴き合うことで、周りの仲間も、その分からないさを共有できる。

そして分からないでつながって、学びが深まっていく。

そして「二人奇れば文殊の知恵」って、聞いたことある？

「二人の愚昧は、平凡な人間でも二人集って相談すれば、知恵の神様（文殊菩薩）のような素晴らしいアイデアが生まれるという話（お伽話）。」

最も安心して聴き合いやすい環境を

堀中の学び舎で学び合うみんながつくっている。

『学びの姿 学びの事実』写真集

生徒が学んでいる写真を掲載しました。

「学ぶことって、共に学ぶことって、素敵です。共に伸びていこう。」